

献立ひとくちメモ

6月1日(火)



牛乳のお話です。

牛たちが新しい草をたくさん食べるこの季節に、ミルクをもたらす命や自然、働く人々に感謝するお祭りが世界各地で行われています。2001年に国連食糧農業機関（FAO）は牛乳への関心を高め、酪農・乳業の仕事を多くの人に知ってもらうことを目的に、6月1日を「世界牛乳の日（World Milk Day）」と決めました。これを受け、日本では日本酪農乳業協会（現 Jミルク）が2008年から毎年6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と決めました。

1日12時間、365日かけて牛たちを大切に育てているそうです。酪農の方たちに感謝して、大切な命をいただきましょう。